

令和5年3月15日にこの編集後記を執筆しております。本日の未明に、2023年の奈良東大寺の修二会、いわゆる“お水取り”の練行が終わりました。“お水取り”は752年に東大寺初代別当の良弁僧正の高弟、実忠和尚によってはじめられた国家安寧を願う行で、令和5年で1,272回目となります。これまでわが国には、戦災、疫病、地震などといったさまざまな困難がありましたが、“お水取り”は一度たりとも取りやめになったことはありません。

「お水取りが終わると春が来る」といわれます。その言葉のとおり、春の予感が感じられる今日この頃ですが、今年の春は特別な感がいたします。3月13日に新型コロナ対策としてのマスク着用のルールが変わりました。3月14日にはソメイヨシノが東京で開花しました。観測開始以降、最も早い開花宣言とのことです。新型コロナによる「憂鬱」な日々から、一気に開放された感がございます。

2020年はじめから続いてきた新型コロナの蔓延ですが、記憶に留めておく意味で今回のコロナ禍を振り返ってみます。2020年4月に最初の緊急事態宣言が発令され、そして2021年の1月から2度目、4月から3度目、7月から4度目と繰り返し宣言が発令されました。宣言のさ中、TOKYO 2020オリンピック(2021年7月21日～8月8日)が開催されました。開催前は、このコロナ禍に果たして開催してもよいものか、中止すべきではないかという議論で日本中が喧々諤々でありました。しかし、実際に開会式が行われると、あっという間に大会は進行して閉会となり、今では遠い昔の出来事のように思えます。

2020年以降、多くの学会・研究会がwebでの開催を余儀なくされました。当初は混乱の多かったweb会議でしたが、慣れてくるとさほどの違和感もなく行われるようになりました。逆に、その経験から、web会議の利点が十分に理解できるようになったともいえます。ただ、web会議を経験したことにより、直接ヒトとヒトが語り合う情報交換の重要性を再認識したのも事実です。直接、空気を通して伝わってくる感動は、web会議では決して味わうことはできません。「本物」の情報交換には、何にも増して重みがあることがよくわかりました。

さて、今回の特集を編集担当された亀山隆先生は、「影」を読む診断ではなく、「影」のもとになっている「本体」すなわち病態や病理学的変化を読むことの重要性を強調されています。まさしく「本物」の重要性です。このたび、出来上がったゲラ刷りを拝読いたしました。いずれも大変な力作です。文面から、先生方が相当に気合を入れて書いていただいたことが伝わってまいります。本特集号は、今後、この分野での教科書的な冊子となることでしょう。そして、コロナ禍から開放されつつある時期にまとめられた特別な一冊ということで、後々まで皆の記憶に残ると思います。

(山崎正志)

# 脊椎脊髄ジャーナル

## 編集顧問

萬年 徹 金田清志 小山素磨  
小柳知彦 田代邦雄 国分正一  
服部孝道

## 編集委員

山崎正志 (編集委員長)  
亀山 隆 園生雅弘 高橋敏行  
高見俊宏 筑田博隆 永島英樹  
中村雅也 根尾昌志 原 政人  
飛驒一利 堀 正明 松山幸弘  
安原隆雄

Vol. 35 No. 11  
(2023年3月24日発行)

毎月1回25日発行

1部定価 (本体2,500円+税)  
(配送料別)

年ごめ予約購読料 33,300円+税  
送料弊社負担

発行/株式会社 三輪書店  
代表者 青山 智

〒113-0033

東京都文京区本郷6-17-9

本郷網ビル

TEL 03-3816-7796

FAX 03-3816-7756

URL <http://www.miwapubl.com/>  
(担当: 山岸)

印刷所/三報社印刷株式会社  
TEL 03-3637-0005

広告申込所/

(株)文栄社

TEL 03-3814-8541

(株)ハイブリッジエージェンシー

TEL 03-3814-0089

本誌の内容の無断複写・複製・転載は著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意ください。

Published by MIWA-SHOTEN Ltd.  
6-17-9 Hongo, Bunkyo-ku, TOKYO © 2022,  
Printed in Japan

**JOCOPY** (出版者著作権管理機構 委託出版物)  
本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構(電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。